

地道な防犯活動に表彰状

赤十字防災ボランティア「ましき」の有志

町内各校区で「防犯パトロール」のボランティアを続けている防災ボランティア「ましき」の有志22人に対し5月8日、御船地区防犯協会連合会(会長・住永幸三郎町長)から表彰状が贈られました。

「ましき」の有志は、平成18年9月から今日まで、各小学校の低学年児童の下校時を中心に、通学路の安全・安心の確保とともに会員の健康増進を兼ねて防犯パトロールを行っており、地域や学校、保護者からも厚く信頼されています。

代表の亀山清高さん(馬水南)は「地道な活動ですが、これからは健康な限り、子どもたちを見守り続けたい」と話していました。



「これからは、子どもたちを見守り続けます」



▲落成したL.E.C.センター附属学習施設

◀式典で謝辞を述べる白鳥施設長

ぬくもりある学びやが完成

こどもL.E.C.センター創立10周年記念式典・附属学習施設落成式

5月21日、こどもL.E.C.センターで創立10周年記念式典、および附属学習施設落成式が行われました。この学習施設は、(財)JKAの助成により建設され、ことし2月末に完成。4月開校しています。

式典で、(福)キリスト教児童福祉会の三藤省三理事長は、「木のぬくもりと明るさがある学習施設で、日常生活と距離感を持って学習させることができるようになりうれしい」とあいさつし、L.E.C.センターの白鳥哲施設長は、「開設以来の念願であった学習施設に子どもたちが『いってきます!』とにこやかに登校できていることに感謝します」と謝辞を述べました。

ペットボトルキャップを集めて、できるだけ多くのポリオワクチンに換えたいという思いで収集活動が続ける木山中学校のボランティア委員会。6月7日、その活動に活かしてほしいと陸上自衛隊高遊原分屯地曹友会(東秀一会長)から、約80kgのキャップが贈られました。

キャップ収集には、高遊原分屯地のほか健康駐屯地も協力。東会長が「皆さんの活動に、少しでも役に立てればと思います。頑張ってください」とキャップを手渡すと、同委員会を代表して副委員長の田上葵さん(3年)と竹川鈴加さん(同)が「協力いただき、大変ありがとうございます。一人でも多くの命が救えるように、みなで活動続けていきます」とお礼を述べました。

命を救う活動に活かして

高遊原分屯地曹友会が木山中へペットボトルキャップ寄贈



「大切に活用させていただきます」